

築地のまちづくりに関する合意

築地市場は、約 75 年にわたり、都民に生鮮食料品を安定供給する基幹的な市場として重要な役割を果たしてきたが、今日において、施設の老朽化、狭あい化など多くの課題を抱えており、東京都（以下「都」という。）は、品質管理の高度化や物流の効率化などの産地や都民のニーズに応じていくため、築地市場の豊洲地区への移転を決定した。

このことを踏まえ、都と中央区（以下「区」という。）は、築地市場が移転した後のまちづくりにおいて、食文化の拠点として築地が育んできた活気とにぎわいを継承していくことの重要性を互いに確認し、下記の事項について合意する。

記

- 1 都は、平成 26 年度中を予定する築地市場の豊洲地区への移転整備を着実にを行い、区もこれに同意する。卸売市場は近年の生鮮食料品流通の広域化、高度化及び情報化の進展から経済的かつ合理的な配置が求められており、至近である築地に卸売市場を整備することは適当でない。その共通認識に基づき、都と区は築地市場閉場後のまちづくりについて検討を行っていく。
- 2 築地のまちは、銀座に隣接する極めて高いポテンシャルを有しており、また、築地市場を中心として、場外市場など周辺との関わりの中で独特の伝統・文化を生み出し、にぎわいを創出してきたという特質を持っている。築地のまちづくりにおいては、これらの特質等をどのように引き継いでいくかという観点も含めて検討を行っていく。
- 3 築地市場移転後も、これまでのにぎわいを途絶えさせることなく、継承していくため、築地のまちづくりにおいては、築地市場の施設のうち、勝どき門駐車場などを暫定的に有効活用することについて検討を行っていく。
- 4 平成 26 年度の豊洲新市場開場を見据え、平成 24 年度中に都区検討会を設置するなど、早期に検討に着手する。